



ふれあい スポーツ

発行
滋賀県障害者スポーツ協会
〒520-0037 大津市御陵町4-1
滋賀県立スポーツ会館内
☎ 077-522-6000
FAX 077-521-8118
Eメールアドレス shigassk@mx.biwa.ne.jp

平成14年度 協会水泳教室 ○ 今津根

○ 今 津 根



フロートを使って指導を受ける参加者(彦根12月15日)

湖 西

2月23日(日)、今津町B&G海

洋センターパールにおいて、滋賀県障害者スポーツ協会第7回湖西地区水泳教室を開催致しました。

この教室は、湖西地区で障害者スポーツの振興をはかるため、あえて地域の特性を打ち出し、

高島郡、大津市、滋賀郡、伊香

郡の方々を主な参加対象として

おり、今回は総勢6人体制での指導となりました。

前回に引き続き、今回も少人数での開催となりましたが、そ

の分内容は濃く、また、きめ細かい指導を頂くことができたこ

とから、日程は一回のみと限定された開催ながら、教室参加者

にとつて満足できる内容とする

ことが出来ました。

また、今回が7回目となるこ

ともあり、指導者と参加者の双

考っておりますが、今回はその地域以外からの参加者を含め11名の参加申込みがありました。

この教室では会場を管理しておられる財団法人ひばりの先生

方を中心にご指導にあたって頂いておりますが、指導員が不足するため、当協会所属の指導員も例年加わり指導体制を組んでおり、今回は総勢6人体制での指導となりました。

おられる財団法人ひばりの先生

方を中心のご指導にあたって頂いておりますが、指導員が不足するため、当協会所属の指導員も例年加わり指導体制を組んでおり、今回は総勢6人体制での指導となりました。

おられる財団法人ひばりの先生



足の動きについての指導(湖西2月23日)

方が既に顔見知りの場合も増えており、より円滑な教室の進行につながり、人的な交流も感じられる、盛り上がりのある教室でもありました。

しかし、このように教室そのものが、内容のあるものであつただけに、教室の開催の目的である湖西地区的障害者スポーツの振興という観点からすれば、特に地元高島郡からの参加者が少なかつたことは残念なことでありました。

しかしながら、このように教室そのものが、内容のあるものであつただけに、教室の開催の目的である湖西地区的障害者スポーツの振興という観点からすれば、特に地元高島郡からの参加者が少なかつたことは残念なことでありました。

平成15年度 滋賀県障害者スポーツ協会事業予定表

年	月	日	曜	事業名	場所	市町村への締切日
15	04	12	土	障害者フライングディスク指導者養成講習会	県立スポーツ会館	3月28日(金) ※協会直接申し込み
		13	日			
	26	土		第3回全国障害者スポーツ大会団体競技滋賀県予選会	県立彦根総合運動場 多目的広場	
	下旬			平成15年度第1回評議員会(定例)	県立スポーツ会館	
05	13	火		平成15年度第1回理事会・第2回評議員会(定例)	県立スポーツ会館	4月14日(月)
	25	日		第41回滋賀県障害者スポーツ大会(陸上競技)	大津市皇子山総合運動公園 陸上競技場	
	31	土		第3回全国障害者スポーツ大会出場選手強化練習会①②(合宿)	県立彦根総合運動場 陸上競技場 他	
06	01	日				6月16日(月)
	15	日		第3回全国障害者スポーツ大会(知的障害者バスケットボール)近畿予選	大津市皇子が丘公園 体育館	
07	06	日		第22回滋賀県スペシャルスポーツカーニバル	県立長浜ドーム	6月16日(月)
	12	土		第3回全国障害者スポーツ大会出場選手強化練習会③	県立彦根総合運動場 陸上競技場 他	
	20	日		第41回滋賀県障害者スポーツ大会(フライングディスク競技)	竜王町総合運動公園 ドラゴンハット	
08	02	土		障害者スポーツ指導者養成講習会[前期]	県立スポーツ会館	7月14日(月) ※協会直接申し込み
	03	日				
	31	日		第41回滋賀県障害者スポーツ大会(アーチェリー競技)	県立アーチェリー場	
09	14	日		第41回滋賀県障害者スポーツ大会(水泳競技)	県立彦根総合運動場 スイミングセンター	8月4日(月)
	20	土		第3回全国障害者スポーツ大会出場選手強化練習会④⑤(合宿)	県立彦根総合運動場 陸上競技場 他	
	21	日				
	28	日		滋賀県障害者スポーツ協会 第18回グラウンド・ゴル夫大会	県立長浜ドーム	
10	13	祝		第41回滋賀県障害者スポーツ大会(卓球競技)	草津市総合体育館	9月1日(月)
	19	日		第3回全国障害者スポーツ大会出場選手強化練習会⑥	県立希望が丘文化公園 陸上競技場 他	
	26	日		滋賀県障害者スポーツ協会 第8回湖西地区水泳教室	B & G 今津海洋センター温水プール	
11	02	日		第3回全国障害者スポーツ大会出場選手強化練習会⑦及び日程説明会	大津市皇子山総合運動公園 陸上競技場 他	10月14日(火)
	06(木)～11(火) 第3回全国障害者スポーツ大会				静岡県(小笠山総合運動公園 他)	
	16	日		滋賀県障害者スポーツ協会 第6回ビームライフル競技大会	県立障害者福祉センター	
	30	日		滋賀県障害者スポーツ協会 第6回ボウリング大会	大津ボウル	
	12	14	日	滋賀県障害者スポーツ協会 第17回水泳教室	県立彦根総合運動場 スイミングセンター	
16	01	17	土	強化指定候補選手体力診断及びトレーニング講習①	県立スポーツ会館	11月17日(月)
	18	日		指導員会	県立スポーツ会館	
	31	土				
	02	01	日	障害者スポーツ指導者養成講習会[後期]	県立スポーツ会館	
		08	日	強化指定候補選手初心者講習会及びトレーニング講習②	県立スポーツ会館	
		11	祝	コーチング講座及びトレーニング初心者講習①	県立スポーツ会館	
		17	火	滋賀県障害者スポーツ協会 第16回スキー教室	びわ湖バレイスキー場	
	22	日		強化指定候補選手トレーニング講習③	県立スポーツ会館	1月19日(月)
	28	土		コーチング講座及びトレーニング初心者講習②	県立スポーツ会館	
	03	06	土	強化指定候補選手トレーニング講習④	県立スポーツ会館	
		09	火	平成15年度第2回理事会・第3回評議員会(定例)	県立スポーツ会館	
		28	日	強化指定候補選手体力診断及びトレーニング講習⑤	県立スポーツ会館	

○■は協会単独主催事業のため、協会会員が対象※1です。また、参加費※2が必要です。

○開催については、市町村役場に通知します。個人に通知はしませんので、申し込み期日までに各自で各市町村役場にお申し込み下さい。※3

※1 ボウリング大会については全国大会の予選を兼ねているため、会員以外の方も参加できます。

※2 参加費は300円（1人あたり）となります。ただし、協会会員以外の方がボウリング大会に参加される場合は500円です。

※3 フライングディスク指導者養成講習会、障害者スポーツ指導者養成講習会は協会に直接申込となります。

その他 県内の主な障害者スポーツ事業予定表

年	月	日	曜	事業名	場所
15	04	06	日	滋賀県障害者ビームライフルクラブ 第5回大会	大津市皇子が丘公園 体育館
	05	10	土	大津市身体障害者スポーツ大会	大津市皇子山総合運動公園 陸上競技場
	06	07	土	身体障害者福祉協会 湖南支部グラウンド・ゴルフ大会	野洲町立篠原小学校グラウンド
	08	23(土)～24(日)		第9回トップシャトル滋賀大会	栗東市民体育館
	09	07	日	第6回全国視覚障害者駅伝大会	県立希望が丘文化公園 特設コース
		21	日	滋賀県障害者ビームライフルクラブ 第6回大会	大津市皇子が丘公園 体育館
	10	26	日	平成15年度守山市障害者スポーツ大会	守山市民体育館
			未定	湖北障害者スポーツカーニバル	県立長浜ドーム
	11	未定		身体障害者福祉協会 志賀支部スポーツ大会	志賀町内の体育館(詳細未定)

※県内ではその他の地区大会、競技大会も例年多数行われておりますが、2月末日現在、当協会に15年度の予定をご報告頂いているものを掲載させていただきました。その点ご理解ください。

※全国の主な障害者スポーツ事業については、誌面の都合で掲載を省略させて頂きました。多数大会等の予定を把握しておりますので、興味のある方は協会事務局までご確認ください。

大会・教室以外の事業報告

12月～3月

お知らせ

【一般会計関係】

第1回 役員会等
理事会・評議員会

第2回 理事会・評議員会
平成15年3月11日(火)

①平成15年度事業計画(案)
県立スポーツ会館会議室

②平成15年度予算(案)について
平成15年3月2日(日)

○賛助会員の異動について
○基金管理委員会の報告について

○その他の会則等の一部改正について
○その他の会則等の一部改正について

○講義・実技「ボッチャ」
○平成15年度事業概要

○競技力向上事業
○競技力向上委員会

○副会長会
○平成15年2月25日(火)

○県立スポーツ会館会議室
○県立指導員会

○平成15年1月19日(日)

○県立スポーツ会館
○平成14年12月21日(土)

○第1回 競技力向上委員会
○第2回 競技力向上委員会

○平成14年12月8日(土)

○第3回 体力測定・トレーニング等
○第4回 体力測定・トレーニング等

○第5回 県立スポーツ会館会議室
○第6回 県立スポーツ会館会議室

○第7回 平成15年2月16日(日)

○第8回 平成15年3月2日(日)

○第9回 平成15年3月22日(土)

○第10回 平成15年3月30日(日)

第4回 (トレーニング)

平成15年3月22日(土)

第5回 (体力測定)
平成15年3月30日(日)

会場 県立スポーツ会館

③コーチング講座
平成15年3月2日(日)

○陸上競技 4月14日
○フライングディスク競技 6月9日

○アーチェリー競技 7月22日
○水泳競技 8月4日

○卓球競技 9月1日

○拳击競技 9月1日

○テニス競技 9月1日

○弓道競技 9月1日

○卓球競技 9月1日

○県大会参加者募集中

県大会の参加者募集が始まりました。参加希望者は各競技の締切日までに市町村窓口にお申込み下さい。

競技別参加申込み期限

○陸上競技 4月14日
○フライングディスク競技 6月9日

○アーチェリー競技 7月22日
○水泳競技 8月4日

○卓球競技 9月1日

○拳击競技 9月1日

○テニス競技 9月1日

○弓道競技 9月1日

○卓球競技 9月1日

○テニス競技 9月1日

○弓道競技 9月1日

各種大会結果

りませんので、ボウリング競技(全国大会の対象は知的障害者のみ)は滋賀県障害者スポーツ協会第6回ボウリング大会が選考記録会を兼ねております。

2002全日本びわ湖クロークントリー大会、都道府県対抗クロスカントリーリレー大会

平成15年12月15日(日)

県立希望が丘文化公園

男子2部A 8km

7位 辻 正規 28分01秒

○長水路水泳大会
平成16年2月9日(日)

群馬県敷島公園水泳場

女子50m自由形
平成16年2月9日(日)

○クラスD
1位 藤谷 美恵 36秒32

○クラスI
1位 龍山三智子 33秒20

○クラスI
1位 龍山三智子 1分41秒15

第15回スキ教室について
2月18日(火)に志賀町のびわ湖

バレイスキーフィールドで開催を予定しておりました滋賀県障害者スポーツ協会第15回スキ教室は、

残念ながら参加者が規定の人数に達しませんでしたので中止させて頂きました。

開催に先立ち、種々ご協力を頂きました、県スキーリー連盟の皆様、スキーフィールドの皆様、市町

村役場の皆様、どうもありがとうございました。

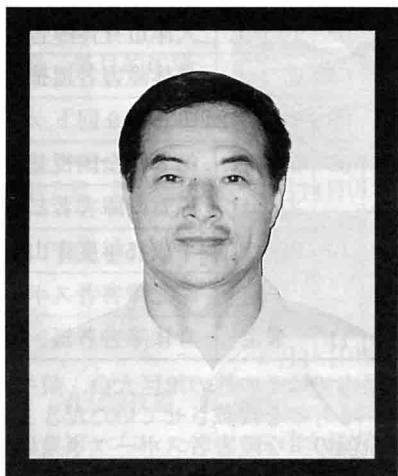
今年の第41回県大会の各競技考記録会を兼ねております。個人競技で全国大会を目指す方は必ず該当競技に出場して下さい。

※県大会にボウリング競技はありません。

2003年(平成15年)3月

八田智洋協会顧問

ご逝去



当協会顧問で昭和52年7月の協会発足時から平成11年3月までの22年間の永きにわたり、協会副会長として協会事業の推進の中心人物であった、八田智洋

(はつたかひろ)さんが、骨髄腫の為、2月13日午前、逝去されました。享年61歳。

八田さんは昭和38年に吹田操車場での事故により、左下腿を切断、障害者となられましたが、元来スポーツマンであったため、昭和50年に三重県で開催された第11回全国障害者スポーツ大会に出場、これがきっかけで障害者スポーツの世界に入られ、協会設立発起人の中心的メンバーとして、設立の原動力としてご尽力されました。

以後、当協会の副会長として、協会事業の推進に全身全霊を傾けられ、その間に「障害者自らが事業の主体となつて運営し、そして参加する」という画期的な考え方のもと、中央に先駆けて指導員制度を実現されるなど、八田さんの行われた先駆的な実績は、滋賀県は勿論、全国的に

知れわたるようになり、障害者スポーツ界では滋賀県の八田を知らぬものはいないと言われる程でした。

また、全国大会の監督11回、团长5回など滋賀県選手団の役員を歴任されたのは勿論、近畿プロック障害者スポーツ指導者協議会会長や日本身体障害者水泳連盟副会長を務められ、全国的規模で活躍されました。

さらに国際舞台でも、昭和51年にカナダ・トロントで開催の国際ストーク・マンデビル大会に出場、槍正確投げで金メダル、昭和54年にイギリス・ロンドンで開催の同大会でも一〇〇m平泳ぎで銀メダルを獲得され、昭和63年のソウルパラリンピック大会にも出場されるなど、競技者として卓越した実績を残された他、現役引退後は日本選手団の水泳競技のコーチとしても手

腕を振るわれました。

このよう抜群の功績から、

と、権威ある日本障害者スポーツ協会の表彰の中でも最上位の

賞である特別功労章を受賞、さらには平成11年には厚生大臣表彰を受賞されるなど、障害者スポーツの分野では比類なき栄誉を受けられました。

平成8年暮れに骨髄腫を発病され、闘病生活を余儀なくされ、退かれましたが、障害者スポーツへの高い理想は病床においても枯れることなく、流れる熱

き血潮は最後のその瞬間まで障害者スポーツの為にありました。

「上に立つ者は、まず自らが動かなければならぬ」という

信念のもと、大会・教室そして

会議、どのような場面でも先頭に立つて動いて下さった八田さん、その姿はいつまでも脳裏に焼き付いて、鮮やかに思い起こすことができます。

協会関係者全てが「いつの日か、必ず八田さんは現場に戻ってきて来られる。」と信じて疑わぬ

かつただけに、このあまりに早すぎる死は私たちにとって、あ

まりにも残酷な結末としか言い

えません。

悲しみは到底言葉では表わすこ

とはできませんが、八田さんの

意志にかなうために、悲しみを

乗り越え、障害者スポーツをさ

らに発展させることこそが、

我々に残された、唯一の道だと

思います。

ありがとうございます。そしてさよなら

を忘れません。私たちが障害者スポーツのことを想う時、心

の中に八田さんは永遠に生き続

けるからです。

八田さん。私たちが障害者

スポーツのことを想う時、心

の中に八田さんは永遠に生き続

けるからです。